

治療を受ける患者さまへ (CV ポート埋め込みの患者様)

化学療法で使用する薬は血管外へ漏れると、その部分の皮膚が赤く腫れたり、ただれたりする可能性があります。

安全に治療を受けていただくために、患者様にも治療中に注意していただきたい点がございますので、ご協力ください。

- ☆ 点滴中 CV ポート周囲が見えやすく、処置しやすい服装でお越しください。
(襟ぐりの広いシャツか前ボタンのシャツ)
- ☆ 点滴している場所やその周辺の痛みを感じた場合、痛みがなくても点滴の針が入ってる周囲が腫れていると思われる場合は、すぐに看護師へお知らせください。

☆ CV ポートから治療を行う場合は……

ポートの入ってる方を下にした姿勢はできるだけ避けてください。
またポートが入っている方の腕を極端に反ったりする体勢は避けましょう。
→針が浮き上がり薬が漏れる危険性があります。

また、斜めがけバックやリュックサック、ベルトなどの肩紐部分がポート部分に圧迫や摩擦しないように注意しましょう。

- ☆ 長時間の治療がある方は治療中、飲食可能です。
持参される際は、においや刺激の少ない食べ物をご持参ください。

